

授業科目名： 多様な生徒の支援演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：阿部 利彦 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	なし		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 多様な生徒の行動と心理を理解するための視点を取り上げ、その理解に基づいて教師として何をすればよいのかを学ぶ。</p> <p>(2) 行動観察や心理検査を活用して、生徒の個別支援と物理・人的環境調整の支援をどのように計画していくか、を学ぶ。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>今日では、学校で子どもたちが直面する問題も多様化・複雑化してきており、教育相談、生徒指導、特別支援教育といったそれぞれの枠組みを超えた柔軟な手立てが求められるようになっている。そこで、さまざまな困難や支援ニーズを持つ生徒たちをサポートする方法について演習を通じて探求していく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：気になる行動の背景を探る</p> <p>第2回：行動観察による「こまり」感の把握</p> <p>第3回：文章完成法を手がかりにした子ども理解</p> <p>第4回：不登校生徒の理解</p> <p>第5回：不登校生徒への支援</p> <p>第6回：いじめの構造と支援</p> <p>第7回：学校カウンセリング（基礎編）</p> <p>第8回：学校カウンセリング（演習）</p> <p>第9回：不登校への対応・支援</p> <p>第10回：いじめへの対応・支援</p> <p>第11回：発達障害のある生徒の支援</p> <p>第12回：気になる生徒と周囲の生徒への支援</p> <p>第13回：保護者への対応</p> <p>第14回：専門機関との連携</p> <p>第15回：支援のネットワークについて</p> <p>定期試験</p>			

スクーリングでの学修内容

スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

(1) 阿部利彦 (2009) 『クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル』 金子書房

参考文献

(1) 阿部利彦 (2012) 『クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL』 金子書房

(2) 阿部利彦 (2017) 『クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル V3』 金子書房

学生に対する評価

レポート評価 (25%)、スクーリング評価 (25%)、科目修得試験 (50%) の割合で総合して評価する。